

平成 22 年度市税の当初予算について

市税収入は 2 年連続の減収となる見込み(当初予算ベース)

平成 22 年度の市税当初予算は、個人市民税において景気の低迷などにより納税義務者や所得の減少が見込まれること、また法人市民税において企業収益の悪化による減収が見込まれることなどから、市税全体では 1,585 億 2,400 万円と、前年度に比べ 2.3%、37 億 8,200 万円の減収を見込んでいる。

個人市民税 景気の低迷などによる納税義務者や所得の減少による減収

【予算額 461 億 4,300 万円 前年度比 2.4%、 11 億 3,200 万円】

法人市民税 景気の低迷による企業収益への影響に伴う減収

【予算額 115 億 8,800 万円 前年度比 21.5%、 31 億 7,500 万円】

固定資産税 土地に係る分が引き続き地価の下落により減収が見込まれるものの、

- ・ 家屋の新增築の増
 - ・ 設備投資の増加による償却資産の増
- などにより、固定資産税全体としては増収

【予算額 728 億 9,600 万円 前年度比 + 1.1%、 + 7 億 6,500 万円】

市たばこ税 税率の引き上げによる売り渡し本数の減少による減収

【予算額 65 億 3,600 万円 前年度比 1.7%、 1 億 1,000 万円】

環境未来税 産業廃棄物の搬入量の減少による減収

【予算額 8 億 400 万円 前年度比 23.7%、 2 億 5,000 万円】

《市税予算額の推移》

(単位：百万円、%)

区 分	平成 18 年度		平成 19 年度		平成 20 年度		平成 21 年度		平成 22 年度	
	予算額	伸張率	予算額	伸張率	予算額	伸張率	予算額	伸張率	予算額	伸張率
市 税 計	158,367	4.2	169,442	7.0	169,619	0.1	162,306	4.3	158,524	2.3
個人市民税	37,679	10.8	46,146	22.5	47,157	2.2	47,275	0.3	46,143	2.4
法人市民税	20,122	54.4	21,539	7.0	20,139	6.5	14,763	26.7	11,588	21.5
固定資産税	72,311	5.5	72,607	0.4	73,196	0.8	72,131	1.5	72,896	1.1
そ の 他	28,255	0.6	29,150	3.2	29,127	0.1	28,137	3.4	27,897	0.9

その他：軽自動車税、市たばこ税、鉱産税、特別土地保有税、入湯税、事業所税、都市計画税及び環境未来税の合計額

問い合わせ先

財政局税務部税制課 ^{すが} 菅 (TEL582-2030)